

みんなで節電、効果的な時間は？電力の“ひっ迫度合い”を全電力エリアで時系列予報

『電力需給予報』をウェザーニュースアプリで緊急公開

30年の実績を持つエネルギー気象チームが気象・体感データを用いて電力需要をAI予測

株式会社ウェザーニュース(本社:千葉県美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、この夏の電力需給ひっ迫の懸念を受けて、効果的な節電に役立てていただくため、お天気アプリ「ウェザーニュース」(iOS版、Android版)にて『電力需給予報』を緊急公開しました。

『電力需給予報』では、当社のエナジーフォーキャストセンターによる独自の電力需要予測と、電力会社から発表される電力の供給力のデータをもとに、国内の全電力エリア分の「電力ひっ迫度(電力使用率)」を時系列で予報します。電力需要予測は、長年電気事業者向けにサービスを行ってきた当社のデータ分析技術や需要予測の知見を活用して開発した、電力需要予測に特化した独自のAIモデルで算出しており、「ウェザーニュース」アプリのユーザーから寄せられる天気や体感の報告を活用することで、予測の精度を高めています。お住まいの電力エリアのひっ迫度合いが時系列で確認できるため、電力需給が特に厳しい時間帯がわかり、節電の際の参考にしていただけます。

2015年以来7年ぶりとなる節電要請がなされる中、今年は平年よりも暑い夏となる予想です。適切な冷房の使用など熱中症予防は十分にいただきながら、『電力需給予報』を節電にお役立てください。

『電力需給予報』のご利用はこちら

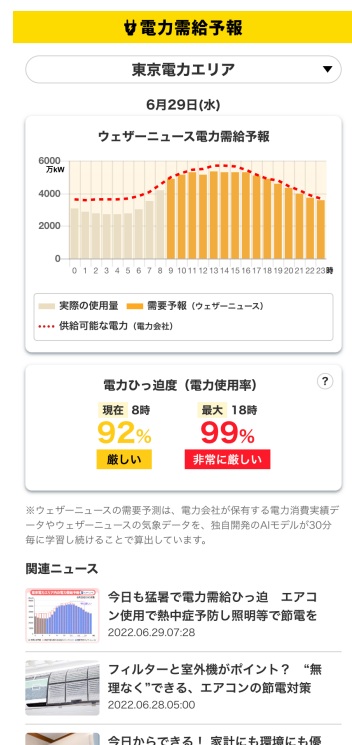
ウェザーニュースウェブサイト『電力需給予報』
<https://weathernews.jp/s/denki/index.html>

「ウェザーニュース」アプリをダウンロード
<https://weathernews.jp/app/>

◆ 全電力エリア分の電力需給の“ひっ迫度合い”が時系列で確認できる『電力需給予報』

政府は6月7日、この夏の電力需給が厳しいとして2015年以来7年ぶりとなる節電要請を行いました。今週27日からは気温上昇に伴う家庭内や企業での電力需要が大幅に高まったことを受けて3日連続で東京電力エリアに「電力需給ひっ迫注意報」が発令され、節電が呼びかけられています。

当社は、効果的な節電に役立てていただくため、「ウェザーニュース」アプリにて『電力需給予報』を緊急公開しました。『電力需給予報』では、当社のエナジーフォーキャストセンターによる独自の電力需要予測と、電力会社から発表される電力の供給力のデータをもとに、国内の全電力エリア(計10エリア)ごとの「電力ひっ迫度(電力使用率)」を予報します。電力使用率(需要/供給力)が高いほど、電力の予備率が小さく電力需給がひっ迫した状態となります。電力需給のバランスが崩れると電力の安定供給ができなくなり、最悪の場合は大規模停電に繋がります。電力会社はそれを防ぐために計画停電などを行うこともあります。



『電力需給予報』では、お住まいの電力エリアのひっ迫度合いが時系列で確認できるため、電力需給が特に厳しい時間帯がわかります。

本予報はどなたでも無料でお使いいただけますので、厳しい暑さが予想されるこの夏、適切な冷房の使用など熱中症対予防は十分にいただきながら、無理のない節電にお役立てください。

<スマホアプリ「ウェザーニュース」概要>

名称	ウェザーニュース
利用料金	ダウンロード無料(App内課金あり)
対応 OS	iOS/Android
ストア URL	【App Store】 https://apps.apple.com/jp/app/ウェザーニュース/id302955766 【Google Play】 https://play.google.com/store/apps/details?id=wni.WeathernewsTouch.jp&hl=ja&gl=US

◆ 独自の気象・体感データと AI 技術で、より高精度な電力需要予測を実現

『電力需給予報』では、当社のエナジーフォーキャストセンターによる電力需要予測データを用いています。エナジーフォーキャストセンターでは、国内 10 電力エリア毎に最適化された電力需要予測に特化した独自の AI モデルを活用し、毎日、全電力エリアに対して需要予測を行っています。

長年電気事業者向けにサービスを行ってきた当社のデータ分析技術や需要予測の知見を活用し、電力会社が保有する電力消費実績データと当社の気象データを過去数年分学習させて構築した AI モデルに、最新の電力データと気象データを 30 分毎に取り込むことで電力需要を算出します。さらに、電力の消費量は人の体感に大きく左右されるため、「ウェザーニュース」アプリのユーザーから寄せられる 1 日約 18 万通の天気や体感の報告を活用することで、予測の精度を高めています。

今回、この夏の電力ひっ迫の懸念を受け、エネルギー気象チームのデータ、ノウハウを集約することで、一般の方にもご利用いただける『電力需給予報』の提供が可能になりました。当社では今後も、保有するデータや技術、ユーザーから寄せられる情報を積極的に活用し、皆さまの生活に役立つ情報提供に取り組んでまいります。

◆ 企業向けに電力需要予測サービスを提供

当社では 1990 年代に電力会社の業務を支援する電力気象サービスを開始して以来、30 年に渡って電力想定をサポートを行ってきました。今年 6 月にはエネルギー市場に特化した「エナジーフォーキャストセンター」を立ち上げ、電力の需要予測や発電量予測の飛躍的な精度向上と新たなサービス開発に、より一層力を入れています。

電気事業者に対しては需給計画を支援する「電力需要予測サービス」(※1)を提供しており、今回提供を開始したアプリの『電力需給予報』にも、その予測が活用されています。また、電力市場向け気象データセット「WxTech[®] for Energy」(※2)も揃えています。こちらは日射量や気温など電力需給計画のもとになる気象データをパッケージ化し、電力取引時間にあわせた 30 分単位で提供するサービスです。MSM(気象庁)よりも予測精度が高い気象データを 1km メッシュの高解像度で提供することができます。企業の需要予測システムに気象データを取り込むことで、より高精度な需要予測が可能になります。

▼企業向けの電力需要予測や気象データセットに関するお問い合わせはこちらから
<https://biz.weathernews.com/wxtech-energy>

※1 2020年6月18日発表: AIを用いた高精度の需要予測システムを開発

<https://jp.weathernews.com/news/31676/>

※2 2020年12月3日発表: 電力市場向けに電力需給計画を支援する気象データセットを販売開始

<https://jp.weathernews.com/news/33247/>